

— 部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(259)	(257)	(255)	(253)	(251)	(249)	(247)	(245)	(243)	(241)
繁栄 古代ローマのはんえい	風呂 ふるに入る	愉快 ゆかいな映画	模倣 手本となる作品をもほうする	慕う 姉のようにしたう	尼 出家してあまになる	曇天 どんてんが続く	堪忍袋 緒 かんにんぶくろのおが切れる	瞬く 星がまたたく	悲惨 ひさんな事件
(260)	(258)	(256)	(254)	(252)	(250)	(248)	(246)	(244)	(242)
被災者 募金 ひさいしゃへのぼきん	抜群 ばつぐんの成績	病棟 リハビリテーションのびょうどう	墮落 だらくした生活	捉える 読者の心をとらえる	醜い みにくい言い争い	墨汁 筆にぼくじゅうをつける	販売 品物をはんばいする	刑罰 けいばつを科す	繰り 練習をくり返す

— 部を漢字（送りがない場合は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(279)	(277)	(275)	(273)	(271)	(269)	(267)	(265)	(263)	(261)
素朴 人柄	匹敵 トップにひいてきする実力	闘志 とうしを燃やす	賄賂 わいろを受け取る	浪費 時間をろうひする	湾 入り江（入江） ナポリわんのいりえ	野蛮 行為	恥ずかしい やばんなこうい	攻撃 防衛省がサイバーこうげきを受ける	掲載 広告をけいさいする
(280)	(278)	(276)	(274)	(272)	(270)	(268)	(266)	(264)	(262)
餅 もちを焼いて食べる	諦める 進学をあきらめる	訂正 ミスをていせいする	慎重 しんちように作業をすすめる	診断 項目	香水 バラのこうすい	錬金術 古代エジプトのれんきんじゅつ	雷雨 はげしいらいう	枕 まくらを高くする	無謀 むぼうな計画

— 部を漢字(送りがながある場合は送りがなも)になおし横に書きなさい。

(299)	(297)	(295)	(293)	(291)	(289)	(287)	(285)	(283)	(281)
牛井 ぎゅうどんを食べる	腎臓 じんぞうの手術をうける	遂行 任務をすいこうする	骨髓 こつずいバンク	囲碁 いごを打つ	誇らしい ほこらしい気持ち	企画 新年会をきかくする	朱肉 印鑑 しゆにくつきのいんかんケース	借金 しゃっきんを返す	婚姻届 市役所にこんいんとどけを出す
(300)	(298)	(296)	(294)	(292)	(290)	(288)	(286)	(284)	(282)
寝坊 遅刻 ねぼうして学校にちこくする	鈍感 人の気持ちにどんかんになる	挑戦 難しい試験にちようせんする	貯金 お年玉をちよきんする	退屈 たいくつなテレビ番組	滝 たきに打たれ心を清める	脱衣所 着替える だついじよで水着にきがえる	大旦那 商家のおおだんな	食卓 しょくたくを囲む	扇形 おうぎがたに広がる台地

— 部を漢字（送りがない場合）は送りがないも）になおし横に書きなさい。

(319)	(317)	(315)	(313)	(311)	(309)	(307)	(305)	(303)	(301)
覆う ガーゼで傷をおおう	卑下 必要以上にひげする	煩わしい わずらわしい手続き	指摘 問題点をしてきする	料亭 京都で有名なりようてい	浸す 食パンを牛乳にひたす	陪審員 ばいしんいんが選ばれる	賭ける カードゲームにお金をかける	添付 メールに写真をてんぷする	花壇 かだんの花に水をやる
(320)	(318)	(316)	(314)	(312)	(310)	(308)	(306)	(304)	(302)
津波 つなみにそなえた訓練	頻発 列車の事故がひんぱつする	抑揚 よくようをつけた話し声	犠牲 ぎせいをはらう 払う	遠征 プロ野球チームのえんせい	昇進 部長にしようしんする	暖炉 だんろのそばであたたまる	励まし はげましの言葉をかける	弥生 やよい時代	雰囲気 やさしいふんいきのある人

—部を漢字(送りがないがある場合は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(339)	(337)	(335)	(333)	(331)	(329)	(327)	(325)	(323)	(321)
濁る 池の水がにごる	俊敏 しゅんびんな営業マン	寂しい 一人ぼっちでさびしい	蛇行 だこうした川	渋滞 巻き 込まれる 交通じゅうたいにまきこまれる	海賊 襲われる かいぞくにおそわれる	獣 山の中のけもの道	哀愁 あいしゅうを帯びた横顔	地獄 じごくにおちる	書籍 購入 しょせきをこうにゆうする
(340)	(338)	(336)	(334)	(332)	(330)	(328)	(326)	(324)	(322)
憎む 戦争をにくむ	誰 一緒 だれといっしょに行きますか	是非 ぜひともご覧ください	殉死 じゅんした人たち	剛健 質実ごうけん	弊害 及ぼす へいがいをおよぼす	排水口 悪臭 はいすいこうからあくしゅうがする	脚本 映画のきやくほん	缶詰 白桃 かんづめのはくとうをデザートにする	端整(端正) たんせいな顔立ち

—部を漢字(送りがない場合は送りがない)になおし横に書きなさい。

(359)	(357)	(355)	(353)	(351)	(349)	(347)	(345)	(343)	(341)
摩擦 まさつで熱が起こる	軟弱 なんじゃくな態度	謎 迫る 宇宙生命のなぞにせまる	沈黙 ちんもくを守る	大砲 たいほうが設置されていた台場	哺乳類 日本に生息するほにゆるい	栃木 とちぎ県	漆塗り お膳 うるしぬりのおぜん	企業 栄枯盛衰 一丁ぎぎょうのえいこせいすい	抵抗 勢力にていこうする
(360)	(358)	(356)	(354)	(352)	(350)	(348)	(346)	(344)	(342)
汚点 人生のおてん	越境 えつきょうして入学する	隠す タンスの引き出しにかくす	但し 半額セール。ただし、秋物は除く。	風俗 ふうぞく営業を規制する	一斉 いっせいに走り出す	市井 しせいの人	浅瀬 あさせの美しい白浜	真珠 養殖 しんじゅのようしよく	容赦 勝負でようしゃしない

— 部を漢字(送りがないがある場合は送りがない)になおし横に書きなさい。

(379)	(377)	(375)	(373)	(371)	(369)	(367)	(365)	(363)	(361)
便宜 べんぎをはかる	大吉 おみくじでだいきちを引く	零細 中小れいさい企業	倫理 指導者としてのりんり観	披露 手品をひろうする	範囲 試験の出題はんい	疲れた 休憩	恵まれた 環境	宛先 はがきにあてさきを書く	大股 おおまたで歩く
(380)	(378)	(376)	(374)	(372)	(370)	(368)	(366)	(364)	(362)
傍ら 街灯のかたわらにたたずむ	褒美 ごほうびをあげる	抱負 ほうふを語る	応募 締め切る	法廷 ほうていが開かれる	澄んだ 水のすんだ湖	眺める 景色をながめる	烧酎 しょうちゅうを飲む	窒素 液体ちっその実験	遅れた 詰問 おくれた理由をきつもんする

—部を漢字(送りがない場合は送りがないも)になおし横に書きなさい。

(399)	(397)	(395)	(393)	(391)	(389)	(387)	(385)	(383)	(381)
挨拶 あいさつを交わす	涼しい すずしい気候	竜巻 たつまきが起きる	悠然 ゆうぜんと構える	連邦 スイスれんぽう	店舗 てんぽを借りる	癖 くぐせを真似る	銘柄 日本酒のめいがら	矛先 ほこさきを向ける	親睦会 しんぼくかいに出席する
(400)	(398)	(396)	(394)	(392)	(390)	(388)	(386)	(384)	(382)
風鈴 ふうりんの音色	湧く 温泉がわく	暗闇 くらやみの中で手さぐりする	翻訳 記事をほんやくする	壁 亀裂 かべにきれつが入る	祈る 成功をいのる	皆 みなさん、ありがとう。	魚介類 名称 ぎょかいりのめいしょう	召集 国会のしょうしゅう	斬新 ざんしんなアイディア

□に当てはまるかん字を、()におくりがなを書きましょう。

(1) 異議 いぎ
を唱える。

(2) 病気が い
遺伝 でん
する。

(3) 川の りゅう
流域 いき

(4) 神が う
宇宙 ちゅう
を を
創 つく
(った)
。

(5) 映 えい
画 が
をみる。

(6) 運動会を明日に えん
延期 き
する。

(7) 鉄道の えん
沿線 せん

(8) 我 われ
先 さき
に出口へ急ぐ。

(9) 胃 い
が痛む。

(10) 地図を かく
拡大 だい
して見る。

(11) 現状を かい
改革 かく
する。

(12) 内閣 ない
かく
総理大臣

(13) 会社の かぶ
株主 ぬし

(14) 干潮 かん
ちよう
の海

(15) まんがを ぜん
全巻 かん
そろえる。

(16) 看 かん
護 ご
師 し
になる。

(17) 簡 かん
単 たん
な問題

(18) 危 き
険 けん
な場所

□に当てはまるかん字を、()におくりがなを書きましょう。

(1) 国によって **異**(なる) ことなる
習慣

(2) つるの **恩** おん
返し

(3) 鉄道が遠くへ **延**(びる) のびる
。

(4) 川に **沿**(つて) そって
散歩する。

(5) **班**長 はん ちよう
の **役**割 やく わり

(6) 服を **干**(す) ほす
。

(7) ネジを **巻**(く) まく
。

(8) **灰**色 はい いろ
の **ね**ずみ

(9) **机** つくえ
の **上**が
乱 らん
雑 ざつ
です。

(10) コーラスを **指**揮 し ぎ
する。

(11) **貴**重 き ちよう
な **宝**石 ほう せき

(12) **単**たん たん
純じゆん じゆん
な **疑**ぎ ぎ
問もん もん

(13) 知識を **吸**収 きゆう しゆう
する。

(14) 物資を **供**給 きゆう きゆう
する。

(15) **胸**きよう きよう
囲い い
を測る。

(16) 夏休みに **帰**郷 き きゆう
する。

(17) **官**かん かん
庁ちよう ちよう
に **勤**つとめ つとめる
(める)。

(18) ひきしまった **筋**きん きん
肉にく にく

□に当てはまるかん字を、()におくりがなを書きましよう。

(1) 来場者は **延**(べ)のべ 千人でした。

(2) 皿が **割**(れる)られる。

(3) **腹**はら **巻**まき をしてねる。

(4) **疑**うたが **い**(い)の目で見る。

(5) 息を **吸**す **う**(う)。

(6) 仏だんに 花を **供**そ **え**(える)る。

(7) **胸**おね が **ドキドキ**する。

(8) **通**つう **勤**きん 電車

(9) **入**にゅう **場**じょう **券**けん を買う。

(10) うちには 教師の **家**か **系**けい です。

(11) 年上の 人には **敬**けい **語**ご で話そう。

(12) **劇**げき **団**だん の **俳**はい **優**ゆう

(13) **激**はげ **しい**(しい)雨

(14) 落とし **穴**あな に落ちる。

(15) **蚕**かいこ のまゆから **絹**きぬ 糸をとる。

(16) 当然の **権**けん **利**り

(17) **憲**けん **法**ぽう を **樹**じゅ **立**りつ する。

(18) **温**おん **泉**せん の **源**げん **泉**せん

□に当てはまるかん字を、()におくりがなを書きましよう。

(1) 遠くまで 足を

延(ばす)

のばす

(2) そこまで わたしも お

供(とも) します。

(3) 先生を

敬(うやまう)

うやまう

(4) 先生の 言葉に

感激(かんげき) する。

かんげき

(5) 単語の

語源(ごげん) を調べる。

ごげん

(6) 父は

厳格(げんかく) な人です。

げんかく

(7) 自己

流(りゅう) では いけません。

じこ

(8) 整理して

点呼(てんこ) する。

てんこ

(9) 誤

解(かい) のないように 説明する。

ごかい

(10) 皇

后(ごう) 陛下(へい) 下(か)

ごうごうへいか

(11) 親

孝(こう) 行(こう) な 子(こ) 供(ども)

おやこうこうなこども

(12) 後(ご) 白(しろ) 河(かわ)

法(ほう) 皇(おう)

ほうおう

(13) 美しい

紅(こう) 葉(よう)

こうよう

(14) 飛行機が

降(こう) 下(か) する。

こうか

(15) 鋼

鉄(てつ) のような 肉(にく) 体(たい)

こうてつ

(16) 今の

時(じ) 刻(こく) を 教(おし) えて 下(くだ) さい。

じこく

(17) 米(こめ) や 麦(あわ) は

穀(こく) 物(もつ) です。

こくもつ

(18) 筋

骨(こつ) たくましい 青(あお) 年(ねん)

きんこつ